

令和5(2023)年度地域共生社会シンポジウム

～ ケアラーへの理解を深め、社会全体で支えるために ～

開催要項

1 目的

近年、少子高齢化や人口減少による地域社会の変化等に伴い、住民の生活課題が多様化・複雑化している中で、人々が住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくため、誰もが役割を持ち、ともに支え合いながら地域を創っていく『地域共生社会』の実現に向けた取組がますます重要となっています。

特に、育児と介護の問題を同時に抱える「ダブルケア」や、こどもが家族の介護や世話を行う「ヤングケアラー」など、個人や世帯が抱える複合的な課題が顕在化し、家庭において過度な負担を抱えるケースも少なくないことから、県では、令和5(2023)年4月に施行となった「栃木県ケアラー支援条例」に基づき、ケアラー支援に関する各種取組を推進しています。

このたび、全てのケアラーが個人として尊重され、社会から孤立することなく安心して生活できる地域社会の実現に向け、社会全体でケアラーを支える気運の醸成を図ることを目的に、本シンポジウムを開催いたします。

2 主催

栃木県

3 運営主体

社会福祉法人栃木県社会福祉協議会

4 日時

令和6(2024)年3月12日(火)

13時30分から16時00分まで ※13時00分から受付開始

5 場所

栃木県庁 東館4階 講堂(宇都宮市塙田1-1-20)

6 参加対象者・定員

地域活動に関心のある方等 / 定員100名(先着)

市町行政、社会福祉施設、社会福祉協議会、地区社会福祉協議会、福祉協力員、民生委員・児童委員、地域包括支援センター、障害者相談支援センター、教育関係者、企業、NPO、中間支援施設、ボランティア、自治会、一般県民 など

7 参加費

無料

8 プログラム（予定）

時間	内容
13:30	開会
13:30～13:35	あいさつ ・ 栃木県保健福祉部次長兼保健福祉課長
13:35～13:45	行政説明 ・ 栃木県保健福祉部保健福祉課
13:45～14:30	特別講演 「ケアラー支援について」 ・ 一般社団法人日本ケアラー連盟 代表理事 牧野 史子 氏
14:30～14:40	休憩（10 分間）
14:40～16:00	パネルディスカッション ○コーディネーター ・ 国際医療福祉大学 准教授 大石 剛史 氏 ○コメンテーター ・ 一般社団法人日本ケアラー連盟 代表理事 牧野 史子 氏 ○事例発表者 ・ 那須塩原市ケアラー協議会 Roots4 作業療法士 仲田 海人 氏 ・ 公益社団法人認知症の人と家族の会 栃木県支部 世話人代表 金澤 林子 氏 ・ 一般社団法人栃木県手をつなぐ育成会 会長 小島 幸子 氏
16:00	閉会

※都合によりプログラムが変更となる場合もございます。あらかじめ御了承ください。

9 申込み方法

別紙申込書により、令和6年2月20日（火）までに下記の宛先へメール又はFAXでお申し込みください。

10 問合せ／お申込み先

社会福祉法人栃木県社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉・ボランティア課
（担当：佐藤・品田）

〒320-8508 宇都宮市若草 1-10-6 とちぎ福祉プラザ内

（TEL）028-622-0525 （FAX）028-621-5298

（Mail）tiikiv@tochigikenshakyo.jp

申込書 URL [シンポジウム参加申込書.doc](#)